1. 次の英文を読み、A-1 から A-5 までの設問に答えなさい。解答は、それぞれの設問に対応する選択 肢の 1 から 3 までの中から答えとして最も適切なものを一つずつ選び、その番号のマーク欄を塗りつ ぶしなさい。

An unmanned Japanese deep-sea research vessel has set the world's longest continuous underwater cruise record of 317 km. The record was established from Saturday to Monday during tests in Suruga Bay, off Shizuoka Prefecture.

The 10-ton unmanned vessel Urashima, cruised back and forward along a straight, 25-km course 800 meters below the surface. The 317-km voyage took about 56 hours, breaking the previous world record of 262 km set in 1988 by a foreign unmanned undersea research vessel.

The foreign research vessel used alkali manganese batteries, but Urashima was powered by fuel cells. A member of the project said that it was the development of high quality fuel cells that made the record possible.

(注) unmanned 無人の vessel 船 cruise 航行、航行する voyage 航海、航行 set[establish] a record 記録を作る alkali manganese battery アルカリ・マンガン電池 fuel cell 燃料電池

(設問)

- A-1 無人の深海調査船「うらしま」の作ったこの新記録は、次のどれについてのものか。
 - 1.水中航行速度
 - 2.潜水深度
 - 3. 水中連続航行距離
- A-2 「うらしま」が、この新記録を作ったとき、どこを航行していたか。
 - 1.海面下800メートルのところ
 - 2. 海面下317キロメートルのところ
 - 3.海面下25キロメートルのところ
- A-3 「うらしま」が、この新記録を作ったときの平均時速は、およそどれくらいか。
 - 1 0.5 キロメートル
 - 2.4.7 キロメートル
 - 3.5.7 キロメートル
- A-4 「うらしま」は、この新記録を作ったときどのような航行をしていたか。
 - 1.何度も円を描くように航行していた。
 - 2.まっすぐなコースに沿って往復航行していた。
 - 3. 深海に向かってまっすぐ潜水したり、浮上したりしていた。
- A-5 このプロジェクトのメンバーが言っているのは、次のうちのどれか。
 - 1.「うらしま」は、高品質の燃料電池の使用により、今後も新記録を作ることが可能だ。
 - 2. アルカリ・マンガン電池の改良が、高品質の燃料電池の開発につながった。
 - 3. 高品質の燃料電池の開発が、「うらしま」がこの新記録を作ることを可能にした。

- 2. 次の A-6 から A-9 までは、海上移動業務で守らなければならない事項に関する国際文書の規定の趣旨に沿って述べたものである。この英文を読み、それに続く設問に答えなさい。解答は、それぞれの設問に対応する選択肢の 1 から 3 までの中から答えとして最も適切なものを一つずつ選び、解答紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。
- A-6 Except for transmissions on the frequency 2182 kHz and on the frequencies 2174.5 kHz, 2177 kHz, 2187.5 kHz and 2189.5 kHz, all transmissions on the frequencies between 2173.5 kHz and 2190.5 kHz are forbidden.
 - (注) are forbidden 禁じられている
 - (設問) 2173.5 kHz と 2190.5 kHz の間の周波数で禁じられている伝送は、次のうちどれか。
 - 1. すべての周波数によるすべての伝送
 - 2 . 2182 kHz、2174.5 kHz、2177 kHz、2187.5 kHz 及び 2189.5 kHz の周波数によるすべての 伝送
 - 3 . 2182 kHz、2174.5 kHz、2177 kHz、2187.5 kHz 及び 2189.5 kHz 以外の周波数によるすべての伝送
- A-7 Ship stations open to public correspondence should, as far as possible during their hours of service, keep watch on 2182 kHz.
 - (注) open to public correspondence 公衆通信を取り扱う hours of service 業務時間
 - (設問)この船舶局は、いかなる場合にも、常時、2182 kHz で聴守を行わなければならないか。
 - 1. はい。
 - 2. いいえ。
 - 3. いいえ。しかし、業務時間中は、必ず行わなければならない。
 - A-8 All stations which hear the distress call shall immediately stop any transmission capable of interfering with the distress traffic.
 - (注) immediately 直ちに capable of ・・・する恐れのある
 - (設問) 遭難呼出しを受信した局は、自局が行なっている送信が遭難通信を妨害する恐れがある場合、 どのようにしなければならないか。
 - 1. 遭難呼出しに受信証が与えられるまで、その送信を中止しておかなければならない。
 - 2. 自局の送信が遭難通信にどの程度の妨害を与えそうか、直ちに問い合わせなければならない。
 - 3. 自局が行っている送信を直ちに中止しなければならない。
 - A-9 The radiotelephone distress procedure shall consist of the alarm signal (whenever possible) followed by the distress call and the distress message.
 - (注) procedure 手続き
 - (設問) 無線電話の遭難手続きの構成で正しいのは次のうちどれか(ただし、警急信号を使用する場合)。
 - 1. 始めに警急信号、次に遭難呼出し及び遭難通報
 - 2 . 始めに遭難呼出し及び遭難通報、次に警急信号
 - 3. 始めに警急信号、次に遭難呼出し及び遭難通報、その後に警急信号

3	次の設問 B-1	しの日本文に対応す	る英訳文の空欄	(ア)か	ら(オ)	までに入る最も述	適切な語句	を、
	選択肢の1から	5.7までの中からそ	れぞれ一つずつ	選び、解領	答は、選ん	んだ選択肢の番号	骨のマーク	欄を
	塗りつぶしなさ	۲۱ _۰						

(設問)

- B-1 A: お久しぶりです。私を覚えていますか。
 - B: はい、もちろん覚えています。でもどこで会ったのか思い出せません。
 - A: It's been so long. Do you $(\mathcal{P}) (\mathcal{A})$?
 - B: Yes, of (ウ) I do. But I can't remember where I (エ) (オ).
 - 1. am meeting 2. course 3. me 4. memory 5. met
 - 6. remember 7. you
- 4. 次の設問 B-2 の日本文に対応する英訳文の空欄(ア)から(オ)までに入る最も適切な語句を、 選択肢の1から7までの中からそれぞれ一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗 りつぶしなさい。なお、選択肢は文頭に来るものも小文字で記してある。

(設問)

- B-2 A: 貴方へ2通の通報があります。受信の準備はいいですか。
 - B: はい。いいです。
 - A: I(\mathcal{F}) two messages (\mathcal{I}) you. (\mathcal{I}) ready to receive?
 - B: (エ), I am (オ).
 - 1. are you 2. for 3. have 4. ready 5. receive
 - 6. there is 7. yes
- 5. 次の設問 B-3 の日本文に対応する英訳文の空欄(ア)から(オ)までに入る最も適切な語句を、 選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗 りつぶしなさい。

(設問)

B-3 周波数 2182 kHz は、無線電話のための国際遭難周波数である。この周波数は呼出し及び応答のためにも使用することができる。

The frequency 2182 kHz ($\mathcal P$) an ($\mathcal A$) distress frequency for ($\mathcal P$). This frequency can also ($\mathcal I$) used ($\mathcal A$).

- 1. are 2. be 3. for call and reply 4. international 5. is
- 6. radiotelephony 7. reply to the call